1　教　育　目　標

（1）本校の教育目標

確かな学力を身に付け、豊かな心、健やかな体で、未来を生きる「領内っ子」の育成をめざす。

〔校　訓〕	めざす児童像
考えてつくりだす子	○仲間の意見を活かし、考えを深める子 ○集中して課題に取り組む子
仲よく助け合う子	○礼儀やきまりを大切にできる子 ○互いに思いやり、助け合う子
励んで汗する子	○運動に親しみ、体力を養う子 ○健康で安全な生活ができる子

「領内っ子」の合い言葉
「いい顔・いい汗・いい心」

・真剣に取り組む顔
・楽しく笑う顔
・運動に励んで流す汗
・実生活で流す汗
・自らを律する心
・相手を思いやる心

（2）経営方針

教職員・家庭・地域の協働体制と創意工夫を大切にし、学校運営の活性化を図ることで、「ふるさと領内」の中で児童が生き生きと学び育つ学校づくりを進める。

○　目指す姿

・　家庭や地域との協働を図り、安全・安心で地域とともにある学校。
・　温かい人間関係の中で、自ら考え、学び、生き生きと教育活動に取り組む児童。
・　一人一人の児童を大切にし、協力して教育活動に取り組む、学び続ける教職員。

（3）本年度の重点努力目標

ア　確かな学力の育成

○　「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、児童が学習のめあてや課題を明確にもち、話し合うことを通して、考えを深めたり広げたりできる授業づくりに努める。
○　教職員に学習規律及び学習環境のユニバーサルデザイン化についての共通理解・共通指導を図り、児童が集中して学習に取り組む力を育む。
○　基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題解決する学習過程を重視し、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育む。
・　総合的な学習や各教科において、ＳＤＧｓを関連させた学習活動を取り入れ、持続可能な社会の担い手となるための教育を推進する。
・　タブレットＰＣや振り返りの活用、個に応じた課題の設定や学習活動、思いや考えを伝え合う学びを取り入れた授業展開や評価方法を工夫することで、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現をめざす。

イ　豊かな心の育成

○　体験活動や地域交流等の実施により、地域の方々に学び、ふれあう機会を大切にし、ふるさとを愛する心や感謝する心を育てる。
○　「特別の教科『道徳』」の学習を充実し、多様な価値を認めた上で、自ら考え、他者と対話し協働しながら深く考え、よりよく生きる心情を育てる。
○　学級活動、児童会活動や委員会活動、縦割り活動（なかよし活動）等を通して、望ましい集団づくりの推進を図り、仲間を大切にする気持ち、主体性や協調性、粘り強さを養う。
・　定期的な教育相談活動、組織的な生徒指導による児童理解に努め、教職員と児童の信頼関係を築くとともに、いじめ、不登校などの未然防止、早期発見、早期対応に努める。

ウ　健やかな体の育成

○　日常の体育学習における運動量の確保と休み時間等の校庭遊びを奨励する。また、意図的・計画的な業間運動の取り組み等、日常的な運動習慣の確立を通して児童の体力向上を図る。
○　健康教育を推進し、「生きる力」の土台となる「たくましく生きるための健康や体力」の獲得、さらには生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う。
○　防災教育・安全教育の充実を図り、災害や安全に対する意識を高めるとともに、命を守るための実践力を育てる。

エ　多忙化解消にかかる業務改善

・　指針である「勤務時間の上限に関するガイドライン」及び「稲沢市立小中学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」を踏まえ、業務改善及び健康障害防止を図ることでワークライフバランスの構築に努め、健康な心身で児童と向き合うことができるようにする。